

温故創新 地産地笑のまちづくり

2020年に千葉県から西会津町へ移住し、「やまあみ鞆製作所」を運営している鞆職人の片岡美菜さん。地域の素材や技術を活用した鞆・小物づくり、工房運営などを行っています。なぜこの町へ移住し、またどんな取り組みを展開しているのか。移住者の声をお届けします。

空き家を活用して、
夢だった鞆工房を
オープン。

2020年8月に西会津町に移住し、空き家を改修して「やまあみ鞆製作所」をオープンしました。鞆工房の立ち上げにあたって「起業型地域おこし協力隊」の制度を

理想にフィットした場所だった。
鞆職人として独立したい。その夢を、西会津町で実現できました。この町に来るまでに、全国各地を見て回っていたんです。鞆工房を立ち上げるなら、自然豊かな田舎がいい。そうやって拠点を探していたときに、この町に出会いました。西会津町へ移住を決めたのは、いくつか理由があります。まずは、雄大な自然があること。ここは見渡すかぎり山々が広がっていて、いつ見ても「きれいなあ」と感動しています。次に、ふるくから受け継がれてきた手仕事や文化が今も残っていること。例えば、ヒロロという植物を使って縄をしたり、草木編みという手法で小物を編んだり、縄文文化を身近に感じられたり。昔ながらの暮らしの知恵が、今もこの町には残っているんです。また、「この町でこんなことをしたい！」という意思を持つ若者が集まっているのも、魅力に感じました。

町の資源を活かしたものづくりを。

利用。経済面も生活面もサポートしてもらえる環境が整っているため、自分のやりたいことにとことん励むことができます。今は特に、西会津町ならではの素材を集めたり、縄ないや草木編みの技術を学んだり、この町の資源を活かしたものにづくりに取り組んでいるところ。鳥獣害対策の観点から捕獲されたシカやイノシシなどの皮、町内の集落でつくられている「出ヶ原和紙」、地域の人から譲ってもらった着物や木綿などの古布を使い、商品の企画や試作に打ち込んでいます。また、小物づくりワークショップを開いたり、工房の設備を町内の皆さんに貸し出したりと、交流も積極的にを行っています。「美菜さん野菜いる？」って、お野菜を持って工房を訪ねてくれたり、活動を応援してくださる方々もいて、とても居心地がいいんです。西会津町は田舎でありながら、人の行き交いや新しいことに次々にチャレンジする文化が活発な場所。鞆工房の運営も、暮らしの面でも、この町の未来にわくわくしています。



鞆職人 片岡美菜さん

健やかな人を ともに育むまちづくり

子どもたちの
豊かな未来、
町の可能性を育む
「ICT教育」。

1人1台デジタル端末を配布したり、ケーブルテレビ網を活かしたオンライン教育を展開したりと、ICT教育を推進している西会津町。西会津町教育委員会の教育長 江添信城氏にこの町の教育の特徴や取り組み、展望など語っていただきました。



江添信城 教育長

多様なネットワークを活かす。

わたしたちが目指しているのは、子どもたちの「非認知能力」の向上です。「非認知能力」とは学力テストなどで数値化されない「子どもたちの人生や将来を豊かにする力」のこと。そこで西会津町教育委員会では、「心豊かに健やかにやり抜く力を育む共育を基本理念に掲げ、多角的な教育を展開しています。特に私が重要視しているのは「不易と流行」です。「不易」とは、西会津の歴史や文化、自然のこと。変わることはない西会津町の資源を活かした体験型教育により、子どもたちの非認知能力の向上や、文化の継承を図ります。次に「流行」とは、時代の先をゆく学びのこと。具体的には、産官・学・民が連携した教育を進めています。例えば、IT企業やものづくり企業と連携し、プログラミング教室や3Dプリンターを使ったものづくり、「一人ひとりの理解度や習熟度にあわせた「個別最適」な教育ができるよう新たに学習アプリを導入したり。既存の教育の枠組みにとらわれない「令和のスタンダード」な教育に踏み出しています。

デジタルで加速する個別最適な学び。

西会津町の最大の強みは、ケーブルテレビが普及しており、ほぼ全ての家庭でインターネットに接続できる環境が整っていること。ICTの基盤が整備されているからこそ、デジタル技術を活用したほかに類をみない事例が生まれています。例えば、コロナ禍で小・中学校が全国一斉休業になった際には、ケーブルテレビを利用した二方向型のオンライン授業を実施。先駆けて1人1台iPadの整備が完了した小学校高学年には、Web会議システム「Zoom」を活用した双方向型のオンライン授業を行いました。現在は小学校ではiPadを、中学校ではWindows端末を全生徒に配布。デジタル端末を教材に、学習ツールとして使用することで、生徒一人ひとりの学習状況が把握できるうえに、その生徒の能動的で多様な学びを後押ししています。

このように、西会津町では中山間地域の豊かな自然を学びの場として活かしつつ、充実したICTの教育環境を整えています。今後は子育て世代の移住促進も視野に入れながら、「西会津町で子育てしたい」と思えるまちづくりに力を入れていきます。